

森林を守ろう！

「緑の募金」にご協力ください

【募金期間】 四月二日（金）～五月二十二日（火）

※各地区の自治委員さんを通じて集めます



森林は、生活用水の確保、良好な生活環境の整備、緑とのふれあいなど、私たちの生活に欠かせない重要な役割を果たしています。

しかし、林業後継者の減少により、森林を守り育てることが難しい状況となっています。このため、近年は森林が減少し、農地の砂漠化、酸性雨の増加、温暖化の進行など

が、地球的規模の環境問題となつていきます。

私たちの生活に欠かせない森林を守り、緑化推進と森林整備を進めるため、緑の募金にご協力ください。

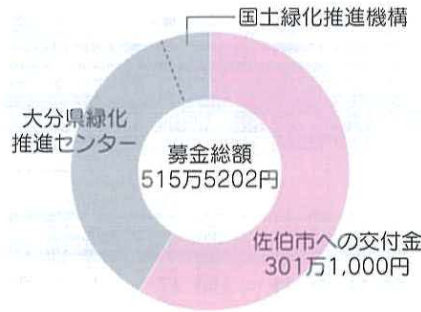
皆さんから寄せられた緑の募金は、ふるさとの大切な森林や、緑を守り育てる様々な活動に役立てられます。

●全国的な活動

国土緑化推進機構による地球温暖化防止の支援や、国際ボランティア活動の支援など。

●県内での活動

大分県緑化推進センターによる「豊の国の森づくり大会」の開催や、森林ボランティア活動の支援、緑化のための苗木等の配布など。



《平成16年度の佐伯市の募金内容》

●佐伯市での活動

学校や公園、河川敷などの公共施設等の緑化や、苗木の無料配布など。



泥谷区で桜の苗木50本を植樹

豊かな海は豊かな森林から

「第4回あまへの森づくり大会」

最近、「海がおかし」「魚が捕れなくなった」といわれ、漁場の荒廃が大きな問題となっています。その原因の一つに「森林の減少」があります。

森林からは、雨水とともに、腐葉土に含まれる窒素やリン、ミネラルなど、生物に必要な栄養分が川や海へ流れ込みます。しかし、森林が減少すると、それだけ栄養分が少なくなり、豊かな生き物を育むことができなくなります。

そこで、豊かな森林を育み、豊かな海を守ろうと、三月十三日（日）に、「あ



まへの森づくり大会」が米水津でありました。これは、米水津の漁業者が主体となつて、林業関係者や植樹ボランティアの皆さんとともに、平成十三年度から取り組んでいる「森づくり海づくり」活動の一環です。

この日は、子どもから大人まで百六十四人が参加。フジツツジ五千本を、色利浦の空の公園に植樹しました。植樹後、参加者は海鮮鍋や干物の昼食を食べながら交流を深めました。

また、参加者には記念品が配られました。皆さんお疲れさまでした。



▽問い合わせ：佐伯市緑の募金推進協議会事務局（市役所本庁林業水産課庶務係内、☎3221）